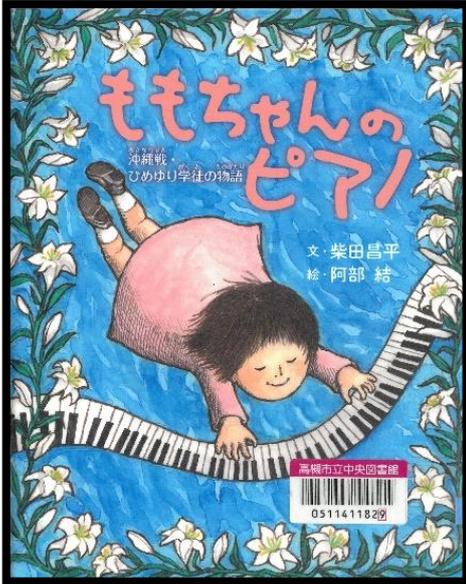


ももちゃんのピアノ

おきなわせん がくと ものがたり
沖縄戦・ひめゆり学徒の物語



柴田 昌平/文

阿部 結/絵

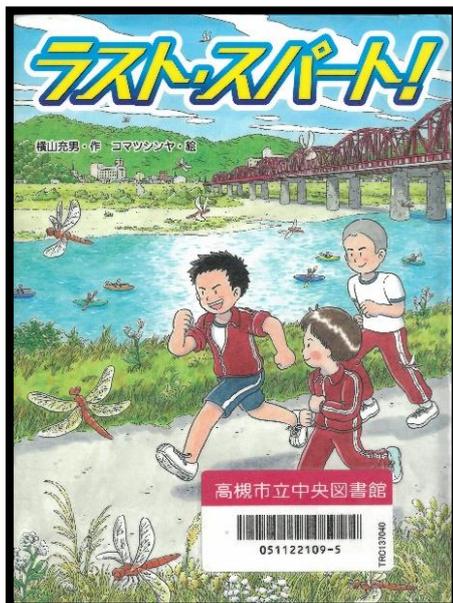
ポプラ社〔219〕

この本は、1928年沖縄生まれで、ひめゆり学園の生徒だった上地桃子さんの人生をもとに書かれました。ピアノへのあこがれや、その美しい音色を支えに、つらい戦時を生きるももちゃんは、ついに戦場になった沖縄で「これが戦争か…」と思い知る壮絶な体験をします。

今も世界中で戦争や内戦がつづくのはなぜ？戦争をくり返さない未来を作るためには？

イメージ豊かな絵が入ったページをめくるごとに、深く考えさせられます。

ラスト・スパート！



横山 充男/作

コマツ シンヤ/絵

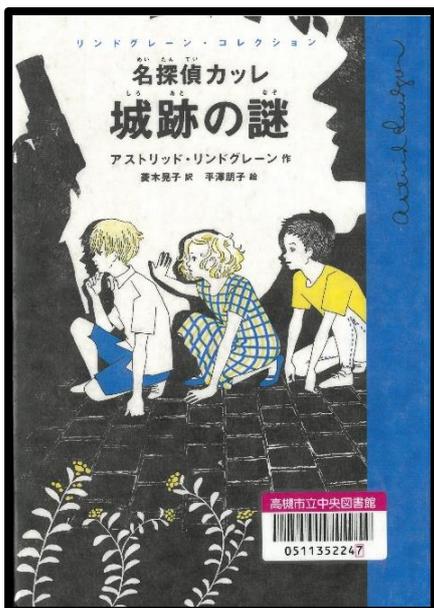
あかね書房〔913ヨコ〕

6年生の翔と親友の正信は、楽しい毎日を過ごす一方、クラスで浮いた存在の花祭や、ジュニアアスリートクラブのメンバーに対して不満をかかえていました。

町の祭りやマラソン大会に積極的に参加する大人たちを見た翔は、ジュニアの駅伝大会に出場する決心をします。

高知の町を舞台に、それぞれ悩みをかかえた少年たちが、駅伝大会を通して成長していくお話です。

めいたんてい しろあと なぞ
名探偵カッレ 城跡の謎



アストリッド・リンドグレン/作
菱木 晃子/訳 平澤 朋子/絵
岩波書店〔949リ〕

名探偵を夢みる13歳のカッレくんはいつか大事件が起こらないかと、町の通りを偵察し、日々探偵の仕事に励んでいます。

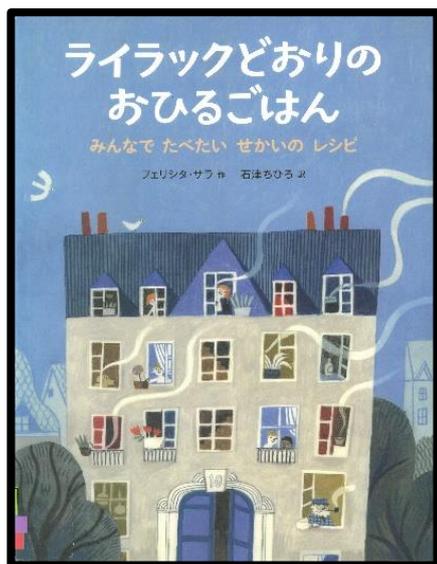
ある夏の日、平和な町に怪しい男が現れ、カッレくんは捜査を開始。仲良しのアンデッシュ、エヴァロッタと一緒に男の秘密を探ります。

スウェーデンの田舎町で、夏休みを全力で楽しむ子どもたちのいきいきとした様子と、謎解きのスリルがうまく絡み合った探偵小説です。

「名探偵カッレ」シリーズ3部作の1作目です。

ライラックどおりのおひるごはん

みんなで たべたい せかいの レシピ



フェリシタ・サラ/作
石津 ちひろ/訳
BL 出版〔エ〕

ライラックどおりの10番地には色々な国の人が住んでいて、おひるになれば、いいにおいがただよってきます。トマトソース、カレー、ケーキのにおいもします。どんな人が何を食べているのでしょうか。

日本の食事として、「親子どんぶり」が紹介されています。では、ギリシアの「スパナコリゾ」って、どんな料理かな？

同じ作者が書いた、旬の野菜とくだものレシピの本『フルールヴィルのいちねん』（BL 出版）もいっしょにどうぞ。どれも作って食べてみたくなる、おいしい絵本です。